

製品名: PRMT7 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84046

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000
分子量	78 kDa

抗原情報

遺伝子名	PRMT7
別名	PRMT7; Protein arginine methyltransferase 7;;PRMT7
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9NVM4
免疫原	ヒト PRMT7 由来の合成ペプチド

背景

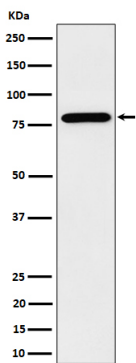
オメガ-N モノメチルアルギニン (MMA) と対称ジメチルアルギニン (sDMA) の両方の形成を触媒するアルギニンメチルトランス

フェラーゼであり、MMA の形成を優先する。特に、核内小核リボ核タンパク質 Sm D1 (SNRPD1) および Sm D3 (SNRPD3) 中のアルギニン残基の対称ジメチル化を媒介する。このメチル化は、snRNP コア粒子の組み立てと生合成に必要である。特に、ヒストン H4 の「Arg-3」の対称ジメチル化を媒介し、H4R3me2 を形成する。

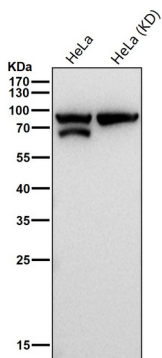
研究分野

-

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の PRMT7 発現のウェスタン ブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:1K に希釈して室温で 1 時間使用します。